



### 多治見子ども議会

平成31年1月26日、多治見子ども議会が開催され、議会について市議会議員から説明を受けた後、子どもたちは議場で議会体験を行いました。



### 議員研修会

平成31年1月28日、辻由起子ほくせつ親子防災部代表を講師にお招きして、議員研修会を開催しました。



### 多治見北高等学校おとどけセミナー

平成31年1月17日、多治見北高等学校の1年生を対象に、18歳選挙権と議会について、おとどけセミナーを実施しました。

## INDEX

- \* 3月定例会のおもな案件 .....2P
- \* 3月定例会の会議状況、議決結果 .....3P
- \* 常任委員会審査概要 .....4~5P
- \* 市政一般質問に16人が登壇 .....6~14P
- \* 傍聴のご案内、6月定例会の予定 .....14P
- \* 談話室の実施報告、勇退議員の紹介 .....15P
- \* 平成31年度予算審議の概要 .....16P

【改元に伴う元号表記について】平成31年3月定例会の内容を掲載しているため、元号の表記については、旧元号を使用しております。

# おもな案件

## 3月定例会の

### 多治見市個人情報保護条例の一部を改正

個人情報が存在しているか否かを答えるだけで不開示情報を開示することになるときに、不開示請求を拒否することができるとするなどの規定の追加および非開示とされるべき個人情報（第三者も含む）を、実施機関の判断で非開示にできるよう改正するものです。

平成31年4月1日から施行

### 多治見市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報等の提供に関する条例の一部を改正

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴い、重複が生じた個人番号の利用の項目を削るものです。また、事務の簡素化のため、介護保険料の徴収事務について、基幹系業務システムにおいて市民税の賦課資料を照会できるようにするため、必要な改正を行うものです。

平成31年6月1日から施行

（介護保険料関係等 公布の日）

### 多治見市介護保険条例の一部を改正

介護保険料の保険料第1段階の保険料

年額の軽減措置を、平成31年度も継続して行うため、必要な改正を行うものです。

平成31年4月1日から施行

### 多治見市国民健康保険条例の一部を改正

国民健康保険法施行令の一部改正により、基礎賦課額の限度額を引き上げるものです。また、被用者保険に加入していた被保険者本人の後期高齢者医療制度への移行により、国民健康保険に新たに加入することとなった65歳以上の被扶養者の保険料の減免の特例を所得割額に限ることとするものです。

平成31年4月1日から施行

（平成31年度の保険料から適用）

### 多治見市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正

災害弔慰金の支給等に関する法律施行令の一部改正に伴い、次のとおり必要な改正を行うものです。

- (1) 災害援護資金の償還方法に月賦償還を加える。
- (2) 災害援護資金の貸付けについて保証人を附さないこととし、政令の一部改正に伴い規定を整理する。

平成31年4月1日から施行

(2) は同日以後に生じた災害による貸付けについて適用)

### 多治見市体育館の設置及び管理に関する条例の一部を改正

多治見市総合体育館（感謝と挑戦のTYK体育館）第1競技場の冷暖房利用料

金を新たに設定し、1時間までごとに5千830円とするものです。

平成31年5月1日から施行



多治見市総合体育館（感謝と挑戦のTYK体育館）第1競技場

### 平成30年度一般会計補正予算（第6号）を可決

事業費の確定等に伴い、多治見市一般会計歳入歳出予算の総額に、2億9千345万4千円を増額し、386億9千199万6千円とするものです。

### 土地の処分

所在地番 東町1丁目9番3、54および61ならびに21番16および109

処分予定面積 9千413.89㎡

処分予定価格 1億3千419万818円

処分の相手方 東京都中央区銀座1丁目21番4号

株式会社 TONNEX HOLDINGS  
代表取締役 中野 晋一

### 工事請負契約の締結

北栄小学校校舎棟外壁等改修工事  
契約金額 2億3千4万円  
契約の方法 指名競争入札

契約の相手方 多治見市大正町3丁目67番地

株式会社飯田建設  
代表取締役 飯田道広



北栄小学校外観

### 人事案件（敬称略）

固定資産評価審査委員会委員  
山田 宏之 滝呂町（再任）  
任期は、平成31年3月26日から平成34年3月25日まで

### 子どもの権利擁護委員

水野 将也 根本町（新任）  
任期は、平成31年4月1日から平成34年3月31日まで

### 意見書1件を可決

地方自治法第99条の規定により提出した意見書は、次のとおりです。

妊婦が安心できる医療提供体制の充実と健康管理の推進を求める意見書  
あて先 内閣総理大臣、厚生労働大臣

※平成31年度一般会計予算については、16ページに掲載しています。



# 常任委員会審査概要

議会の情報をみなさんにお伝えするため、3つの常任委員会での審査概要をご紹介します。

## 総務常任委員会

委員長 佐藤 信行

### ●議第1号 専決処分の承認を求めるとして

(所管部分)

学校施設等への空調機設置に伴う工事請負費の増額を専決処分したことについて、「2019年6月末までの設置を求めた請願が採択されたことが影響したのか」という質疑に対し、「請願の趣旨も含み、今回、平成31年2月13日付けで専決処分をしないと工期が間に合わないということであったので、専決処分とさせていただきます」との答弁がありました。

### ●議第19号 平成31年度多治見市一般会計予算

(所管部分)

民生使用料が前年度と比較し1億円マイナスになっている原因について、「保育園、幼稚園を利用する子どもの人数が減ってきて使用料が下がっているということか」との質疑があり、「当初予算で見込んでいた子どもの人数よりも、実際に利用された子どもの人数のほうが減っているためである。また、国が行う無償化に対し、平成31年度に関しては、全額が国からの臨時交付金ということになっているが、まだ反映できないため、補正予算での対応をしたい」との答弁がありました。

ふるさと応援寄附金について質疑があり、「返礼品のメニューの拡大、市内の各事業所から特徴的な商品はないか」ということで情報を収集している。計画では、東京や大阪、大都市に住んでいる若い人たちが、多々

## 経済建設常任委員会

委員長 渡部 昇

### ●議第12号 平成30年度多治見市駐車場事業特別会計補正予算(第1号)

(所管部分)

駅北立体駐車場の利用について、「上階の定期利用者のところは平日がピークで、土日は空いていることが多い。そこで、企業にまとめて貸しているところを平日限定とし、土日は一般に開放するなど、駐車台数をさらに増やして、利益を増やす考え方についてどう考えるか」との質疑に対し、「定期利用については、昼間利用や夜間利用があるため、駐車されていない時間をさらに有効に使う方法を指定管理者で検討している」との答弁がありました。

### ●議第19号 平成31年度多治見市一般会計予算

(所管部分)

地域あいのりタクシーについて、「事業化をしていくと全50区に影響が出て、対応が難しい区も出てくる。公平・公正な立場で考えると、この先、限界があると感じているが、見直しがあるのか」との質疑に対し、「平成29年度の事業開始から2年が経過した。今後、可能なところについては実施していきたいが、全50区に導入するというのではなく、必要な地区に必要な量だけ導入していただく考えである。それに基づいて、今、実際に運営していただいているところと意見交換をしながら、制度の改善、見直しを行っていく予定である」との答弁がありました。

児童遊園について、「大量につくられているが、団々

## 厚生環境教育常任委員会

委員長 山口 真由美

### ●議第19号 平成31年度多治見市一般会計予算

(所管部分)

【(仮称)食育センター建設事業費】

平成28年6月議会終了直後の全員協議会において、学校給食調理場の計画が「単独校方式、近接校方式から、センター方式にする」という大きな方針転換の説明があった。これにより、精華小学校での建設を予定していた近接校方式の調理場建設は中止となった。そのため、本委員会では、この件を平成29年度の年間テーマとして議論することとし、委員会視察には単独校方式の福岡県宗像市、センター方式の山口県下松市を訪れた。また、共栄調理場と大畑調理場を視察して現場の声を聞き、老朽化が深刻であることを確認した。平成29年12月、本委員会から市長と教育長宛に、調理場整備計画の見直しに係る要望書を提出し、平成30年6月議会において(仮称)食育センターの建設について総合計画の変更を議決した。その直後の全員協議会において、第一候補地の国宗団地跡地に併せて他の候補地も示されたが、その後の9月議会、12月議会において、本件に伴う予算計上はされず、今議会の平成31年度一般会計予算で計上され、平成32年9月供用開始予定は、1年延期し、平成33年9月と示された。

以上の経過を経て、本委員会での次のとおり質疑が行われました。

「当初、平成30年8月中に候補地を最終決定し、9月議会に補正予算が提案される予定と思われたが、」

## 常任委員会審査概要

### 付託されたおもな議案

事件番号	付託された議案	審査結果
承第 1 号	専決処分の承認を求めるについて(所管部分)	承認すべきもの
議第 1 号	多治見市個人情報保護条例の一部を改正するについて	原案可決
議第 2 号	多治見市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正するについて	
議第 8 号	平成30年度多治見市一般会計補正予算(第6号)(所管部分)	
議第 19 号	平成31年度多治見市一般会計予算(所管部分)	
議第 33 号	土地の処分について	

「多治見市に住んでいる父親・母親の見守りをしてほしい」というニーズもあるので、返礼品の中に組み込めないかということを検討しているところである」との答弁がありました。

「LGBTの方への対応について、実施予定の各種選挙をはじめ、全庁的な対応を検討していくべきではないか」との質疑に対し、「岐阜県からも照会等が来ており、県内のどこが記載を廃止していく方向かという情報も来ている。多治見市としても対応していかなければいけない問題である」との答弁がありました。

自主防災隊防災活動関係費で、防災士の資格取得への補助金について質疑があり、「一次年度以降、この地域防災力向上セミナーに補助金の活用も併せ、防災士について総合的に研究する」との答弁がありました。

### 付託されたおもな議案

事件番号	付託された議案	審査結果
議第 8 号	平成30年度多治見市一般会計補正予算(第6号)(所管部分)	原案可決
議第 12 号	平成30年度多治見市駐車場事業特別会計補正予算(第1号)	
議第 15 号	平成30年度多治見駅北土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)	
議第 19 号	平成31年度多治見市一般会計予算(所管部分)	
議第 25 号	平成31年度多治見駅北土地区画整理事業特別会計予算	
議第 28 号	平成31年度多治見市水道事業会計予算	

「地の住民も順番に高齢化して、使い方が変わってきていることを踏まえ、整理するものは整理し、児童遊園に置く遊具等も考えるということがあったかと思うが、維持管理の費用を考えると、もう少し集約する必要がある。整理や集約をするという考えはあるのか」との質疑に対し、「児童遊園については、住宅団地内の小規模な児童遊園や、地元でも管理をしておらず利用が少ない小規模な児童遊園が見受けられる。地域の要望があるところから、別の用途に変更するなどしている。平成30年度は、姫地域において要望に基づき、公園の遊具を撤去し、地元に使っていただいている」との答弁がありました。

### 付託されたおもな議案

事件番号	付託された議案	審査結果
承第 1 号	専決処分の承認を求めるについて(所管部分)	承認すべきもの
議第 4 号	多治見市介護保険条例の一部を改正するについて	原案可決
議第 5 号	多治見市国民健康保険条例の一部を改正するについて	
議第 6 号	多治見市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正するについて	
議第 7 号	多治見市体育館の設置及び管理に関する条例の一部を改正するについて	
議第 8 号	平成30年度多治見市一般会計補正予算(第6号)(所管部分)	
議第 19 号	平成31年度多治見市一般会計予算(所管部分)	
議第 70 号	工事請負契約の締結について	

「遅れた理由は」との質疑に対し、「地元の方々と協議をする時間に半年をかけたためである」との答弁がありました。

「アレルギー対応の計画と現在の調理場の老朽化の状況は」との質疑に対し、「(仮称)食育センター完成後に安定稼働を確認した後、市の北部にアレルギー対応を広めていく。共栄、大畑調理場の老朽化は、床や壁のヒビや床の形状など、現在の衛生基準に適合しない。調理員の努力で衛生に気を使い、何とか安全な給食を届けている」との答弁がありました。

「新しいメニューは増えるのか」との質疑に対し、「現在の調理場では老朽化のため生野菜の提供ができないが、食育センター完成後は提供が可能となるため、メニューの幅がさらに広がり、おいしい給食が提供できる」との答弁がありました。

# 市政一般質問

市政一般質問は、議案質疑のほかに市政全般にわたって市の行政事務の状況や将来に対する方針などをたずぬもので、定例会に限って行われます。

今回は16人の議員が登壇し、市の考えを尋ねました。

6ページから14ページまで、登壇順におもな内容を掲載しています。

●柴田 雅也 議員	これからの陶磁器の街—多治見の姿について考える	6P	●古庄 修一 議員	子ども食堂について	11P
●森 厚 議員	多治見市の公共サービスのあり方について	7P	●佐藤 信行 議員	重症心身障がい児(者)への医療的ケアと福祉の連携について	11P
●林 美行 議員	最後のチャンスともいえる大学誘致について	7P	●山口真由美 議員	本当に困っている子どもを助けられる「子どもの権利条例」にするためにすべきこと	12P
●若尾 敏之 議員	中心市街地の活性化について	8P	●渡辺 泰三 議員	音楽で溢れるまちづくりを	12P
●三輪 寿子 議員	学校給食の無償化について	8P	●仙石三喜男 議員	星ヶ台運動公園整備計画(案)について(子ども、高齢者にとって優しい夢のある公園を目指して!)	13P
●渡部 昇 議員	たじみ健康マラソンについて(No. 2)	9P	●寺島 芳枝 議員	Net119緊急通報システムの導入について	13P
●石田 浩司 議員	高齢者の移動手段と徘徊について	9P	●井上あけみ 議員	多治見市内に通所リハビリテーションを!	14P
●吉田 企貴 議員	陶芸工房バンクの運用状況について	10P			
●若林 正人 議員	「古川市政を問う」…残された課題と、4期目への覚悟について	10P			

## 問

陶磁器意匠研究所修了生が引き続き市内に居住し、創作活動を行うためには、工房を兼ねた住居等の家賃を

申請が増加している。

## 答

〔経済部長〕美濃焼産業観光補助金は、販路開拓や産業観光という視点での新たな事業展開の支援に有効だと考えるが、活用状況はどうか。

〔市長〕国際陶磁器展美濃は、世界最高の陶磁器コンペティションを目指すこと、陶磁器をテーマとした国際交流の場とすること、新たな陶芸家を育むことなど、5つの基本方針をもとに事業を実施する。全体審査委員長兼陶芸部門審査委員長に多摩美術大学学長の建昌哲氏、デザイン部門審査委員長にモザイクスタイルミュージアムを設計した藤森照信氏が決定している。

## 問

伝統ある美濃焼の産地も、事業者が大きく減少する中、新たな活路を見出そうと販路開拓や商品開発に積極的に取り組む事業者が多く存在する。また、陶磁器意匠研究所は、国内はもとより海外においても高い評価を得るクリエイターを多く輩出しており、人材育成の面でも成果が出ている。そこで、多治見が美濃焼の街として持続していくために、陶磁器産業振興や担い手育成に関する支援の状況、今後の展望について、以下の質問をする。

## 問

国際陶磁器フェスティバル美濃は、次回で12回目を迎える。入場者数に注目が集まるが、それ以上に国際陶磁器フェスティバルの開催がこの地域や内外にどのような波及効果をもたらすかが重要と考える。第12回の開催方針は、

## 答

〔経済部長〕今年度、市内に居住し創作活動を行う修了生を対象に、家賃と貸工房等の使用料の一部を補助する修了生創作活動支援補助制度を創設した。平成31年4月に運用を開始し、平成30年度の修了生から対象となる。この補助金と陶芸工房バンクとの相乗効果で、創作活動を続けたい修了生を支援し、修了生の市内定着を図っていく。



しば た ま さ や  
柴田 雅也

これからの陶磁器の街—  
多治見の姿について考える



もり 森

### 多治見市の公共サービスのあり方について

本市には、総合計画を中心にさまざまな計画が存在する。これらの計画は、公共サービス向上を目指すためのものであって、抑制するものではない。公共施設適正配置計画や立地適正化計画は、人口減少に伴う財政縮小化を想定した計画であり、地域間格差とともに、公共サービスの低下を招くのではないかと。今後の施設と公共サービスのあり方について、以下の質問をする。

**問** 5年後、10年後、20年後にはどのように公共サービスが向上するのか。

**答**【市長】人口減少は避けて通ることはできない。こうした中、重要視しなければならないことは、自治体経営の視点であり、その持続可能性である。

本市の公共施設適正配置計画は、施設数ではなく機能（サービス）を重視したものである。根本交流センターや精華小学校附属愛児幼稚園は成功例と考へており、今後も、量から質への転換を図ることとしている。

**問** 40年後には、公共サービスに対する不公平感はなくなるのか。

そのため、来年4月から公共施設管理室を「課」に格上げし、不転の決意をもって取り組む覚悟である。

**答**【企画部長】公共施設適正配置計画は、全ての地域に同様の施設を整備するためのものではない。しかし、施設の統廃合に取り組む際は、地域や利用者の声をしっかりと聴き、必要な機能を検討し、理解が得られるよう努めていく。

**問** まちづくりの視点から施設の統廃合には賛成をしている。しかし、近くにあった施設がなくなるといことで、サービスの低下を感じる方もみえると思う。そのため、40年後のまちづくりの姿を示すことが必要ではないか。

**答**【企画部長】本市の総合計画は、実現可能な事業を盛り込んだ中期的な計画であるため、40年後のまちづくりの姿を示すことは困難だと考へる。そのため、4年毎の総合計画の見直しに伴い、その都度、まちづくりの姿勢を示していくこととしている。

**問** 公民館など、地域の施設の運営について、ソフト・ハード両面での支援など総合的に考へることができないか。

**答**【市長】各地域によって実情は異なる。地域の特性に合わせ、公共サービスの低下を招かないよう時間をかけ、市民に支援策を提示していききたいと考へている。



はやし 林

### 最後のチャンスともいえる大学誘致について

昨年の12月25日、岐阜大学と名古屋大学による東海国立大学機構設立について基本合意が発表された。本市においては、平成6年に認められた東濃研究学園都市構想の中で、大学誘致活動を行ってきたが、これといった成果が得られていない。今回の東海国立大学機構設立を契機に、再度、大学誘致活動を働きかけてはと考へている。これが多治見市にとって最後のチャンスと考へるため、以下の質問をする。

**問** 東海国立大学機構の設立に伴い、再度、大学誘致に取り組むべきではないか。

**答**【市長】これまで本市は商工会議所、経済界を中心に、また、市長みずから大学誘致活動を行ってきた。しかし、近年においては、名古屋圏の主要私立大学の郊外のキャンパスの多くは、名古屋都市部に移転している。このような状況において、本市に大学を誘致することは困難であると考へる。ただし、岐阜大学と名古屋大学の連携に伴い、先端的大学院大学の誘致については、岐阜県と連携を取りつつ、積極的に情報収集を行いたい。

**問** どのような取り組みを考へているのか。また、東濃研究学園都市構想とどのような連携を考へているのか。

**答**【市長】我々の強みは、フラインセラ

**問** この誘致事業は、国策レベルで動くことができる最後の機会に思っている。地域の発展につなげ、岐阜県を説得できるような前向きな姿勢で取り組んでほしい。

**答**【市長】新たに誘致をした日本ガイシ株式会社は、既に試運転を行っている。今回の岐阜大学、名古屋大学の連携と先端技術ということになれば、日本ガイシ株式会社の技術などは、非常に優位性があると考へている。こういった多治見市の伝統と特性を活かしながら、この大学誘致について、スピードと正確さを持って後手に回らないよう、情報収集をしながら、誘致活動を行うよう積極的に対応したい。

◆多治見市が抱える根本的課題について  
◆立地適正化計画のスピード感について



わかお としゆき  
若尾 敏之

中心市街地の活性化について

駅南再開発により「テラ」が閉店する。その間に駅南の商店街を中心に地域を盛り上げることで新しい店がオープンした時には、駅南からオリベストリートまでの良い流れができるのではないかと考える。今一度現状を把握し、いい方向へ展開することを願う質問する。

**問** 商店街の活性化策について本市が考えていることは何か。

**答** 【市長】 商店街の拠点となる旧ワタナベ時計店にオープンするヒラクビルを中心に、周辺の空き店舗を調査し、物件を確保する。住居と店舗が一体となっている物件については、トイレ改修等の分離工事に対する補助事業を新たに実施する。確保した物件と出店希望者をマッチングして商店街を活性化させる。

**答** 【経済部長】 中心市街地活性化基本計画に基づき、出店を促進するため、ビジネスプランコンテストの開催や、起業・創業相談、創業支援セミナーを開催し、商店街の暑さ対策のため空中スイカ事業やドライ型ミスト機を設置を実施する。

**問** 駅南再開発による駅前・ながせ・銀座商店街、オリベストリートに与える影響はあるか。

**答** 【市長】 駅から再開発エリアをつな

問

ぐ、ペダストリアンデッキの人の動きを駅前商店街へ誘導するよう検討している。また、多治見まちづくり株式会社を中心となり、駅前商店街からオリベストリートへの誘導について計画を立てている。

答

**答** 【都市計画部長】 コンパクトシティの実現に向けて多治見市立地適正化計画を策定し、今後概ね20年をかけて居住誘導を図っていくこととしている。同計画では、中心市街地を本市のまちの顔として中心拠点に位置付けており、駅南再開発を中心とした居住誘導施策に継続的に取り組むことで、居住人口の増加、まちのにぎわい創出につなげていく。



ヒラクビル  
(若尾敏之の撮影)

その他の質問項目

◆中央北分団の跡地利用について



みわ ひさこ  
三輪 寿子

学校給食の無償化について

子どもの虐待、特に育児放棄が増加するなか、学校給食の存在は大きな位置を占めている。しかし、一部では、給食費の滞納が続いた場合、給食を提供しないという自治体が出てきた。一方で、貧困対策として、夏休み中に学童保育への給食提供を行う自治体、朝食会を行う自治体もある。子どもたちがお金の心配をすることなく、楽しく、おいしく給食が食べられることは、大きな意味があると考え、以下のとおり質問する。

問

の天引きを実施しており、悪質な滞納者には支払督促等の法的措置も視野に入れている。

答

**答** 【市長】 給食費は、給食材料費である。学校給食法第11条第2項には、給食材料の経費は保護者の負担であり、無償化する考えはない。

問

平成33年夏に開設予定の(仮称)食育センターについて、地元の合意を得るためにどのような姿勢で臨むのか。

答

**答** 【教育長】 今までに14回の説明会を行った。そのなかで、地元から、市議会に総合的に判断いただきたいとの文書が提出されたため、今議会に(仮称)食育センター建設事業費を含む新年度予算を提案し、議会の判断にゆだねている。この予算が可決された場合は、地元の意見をよく聞き、十分な調整を図っていく。



小学校での給食の様子

その他の質問項目

◆公共交通の充実について



わたべ のぼる  
渡部 昇

たじみ健康マラソンについて  
(No.2)

平成30年3月議会の市政一般質問において、たじみ健康マラソンには健常者も障がい者も子どもも高齢者も、誰もが楽しんで走れるコースの設定が必要であると考え、星ヶ台競技場トラックでのバリアフリー周回コースの設定を提案させていただいた。しかし、今年度開催されたたじみ健康マラソンにおいてもバリアフリー周回コースの設定がなかったため、再度、以下の質問と提案をした。

**問** 昨年の提案について、誰と、いつ、どのように検討されたのか。

**答** 【環境文化部長】平成30年7月9日開催の第1回たじみ健康マラソン実行委員会協議をした。実行委員会、陸上競技協会8人、体育協会加盟種目団体やスポーツ推進委員等8人の合計16人の委員で構成されている。

**問** どのような理由で実施されなかったのか。

**答** 【環境文化部長】①毎年、参加者と運営スタッフを合わせ約2千人が参加しており、他部門の参加者との交差が生じ安全性を確保することができない。②他部門の実施状況から、競技場内の配置変更が困難であり、十分なレーンスペースを確保することができない。③周回カウントをする

**問**

スタッフを配置することができない。次回のたじみ健康マラソンで障がい者、子ども、高齢者が参加できるトラックでのバリアフリー周回コースを設定できないか。

**答**

【市長】実行委員会では毎年度、前年度の課題を踏まえた見直しを実施している。今年度は、ジョギング走者が交差する危険を回避するため、出発時間や表彰式の実施方法の変更を行った。また、参加者からは、アップダウンのあるコースが好評を得ており、バリアフリー周回コースの設定は、参加者を障がい者等に限定したとしても、現状では困難と考える。

**問**

トラックの外周2レーンを使い、周回を逆回りにすることで、安全面等の問題は解決できないか。再度、トラックでのバリアフリー周回コースを提案したい。

**答**

【市長】議員から強い要望があったことを実行委員会に伝えたい。安全面を考え、再度検討する。



たじみ健康マラソンのようす



いしだ ひろし  
石田 浩司

高齢者の移動手段と徘徊について

高齢者の移動手段および徘徊対策の本市の考えについて質問する。

**問**

警察庁の統計では、認知症に関する行方不明者の届け出受理数は1万5千863人と年々増加している。昨今、市内においても行方不明者の広報の件数が非常に増えており、平成30年6月議会において、徘徊による行方不明者の広報の件数が増加していることをお話し、QRコードやGPSの提案をしたが、その後、検討はされたのか。

**答**

【副市長】GPSなど探す側に有利なツール、QRコードシールなど保護した側に有利なツールがある。また、見守る側の地域住民の力も必要不可欠であり、ツールを理解し協力を得られる環境をつくる必要がある。現在、岐阜県警が靴に取りつけたGPS機器を使用し、高齢者の見守りネットワーク事業の実証実験を進めており、本市も協力している。

**答**

【市長】今後、福祉部を中心として積極的に情報収集をする。それを導入できるかできないかという具体的な対応を迫られている時期に来てい

**問**

る。今後ともそういった対応はしっかりと行う。  
高齢者の徘徊は喫緊の課題であるが、対策はどのようなか。

**答**

【福祉部長】認知症サポーター養成講座やフォーアアップ講座を継続的に実施し、見守り人材の育成に努めている。

また、地域包括支援センターと連携し、認知症高齢者の徘徊時における声かけ訓練を実施している。  
なお、認知症地域支援推進員は、平成31年度に1人増員予定である。

**問**

買い物や通院の移動に困難な高齢者が増えていると考えるが、高齢者の移動手段について、本市の考え方はどのようなか。

**答**

【都市計画部長】今後とも200円バスを継続するとともに、地域あいのりタクシーを中心として、地域内交通のさらなる充実を図る。

**答**

【市長】将来の公共交通のあり方は、基幹バスからタクシーに移行していくと捉えており、地域あいのりタクシーの予算を前年度の2倍に拡大している。

その他の質問項目

◆子育て日本一の実現をめざして(幼保無償化について)



よし だ 吉田 ちと だ 企 貴

陶芸工房バンクの運用状況について

昨年6月議会にて提言した「空き工房バンク」は、「陶芸工房バンク」として運用され、陶磁器意匠研究所のホームページを見ると実際に活用されていることがわかる。

しかし、まだまだ工房の数は十分とは言えず、ニーズを満たしきれていない。そこで、実際に運用して明らかになった課題や必要と思われる支援策を詳らかにし、今後の運用がより充実したものになるよう、期待を込めて質問する。

問

工房の登録数は。

【経済部長】 ホームページには、11件の物件を掲載、内訳は、養正、滝呂、市之倉、小泉地区に各2件、精華、昭和、南姫地区に各1件。ほかに高田地区、笠原地区の物件を調査している。

問

市内におけるニーズはいかほど、反響はどうか。

【市長】 工房を探している登録者は7名。うち3名の賃貸借契約が成立している。なお、登録はないが、ほかに数件の問い合わせがある。意匠研究所修了生からは、待ち望んでいた制度であるとの反響があり、物件情報の提供者からは、多治見市の地場産業、人材育成に貢献したいとの

問

意志で物件登録に協力していただいた方もみえ、非常に好評である。求められる物件の条件はどういったものが多いか。

【経済部長】 窯やロクロ、水場の有無、広さ、周囲の環境、使用料などさまざまである。掲載物件は意匠研究所職員が全て現地調査をし、工房を探している方へ説明を行うようにしている。

問

関係諸機関への働きかけはどのようにしたことを実施したか。

【経済部長】 陶磁器関連組合を中心に8組合を訪問し、陶芸工房バンクとの連携による工房整備意欲を喚起するため、美濃焼産業観光振興補助金制度の説明とともに協力を依頼した。また、チラシを作成し、組合を通じて組合員への周知と、東京・大阪・名古屋のぎふ移住・交流センター、市役所や卒業制作展などに設置した。

陶磁器関連組合員の方のロクミにより5件、新聞などにより2件の新規物件の掘り起こしが行われた。



窯出しの様子 (吉田企貴提供)



わかばやし まさと 若林 正人

「古川市政を問う」…残された課題と、4期目への覚悟について

昨年12月議会において、古川市長は4期目への意欲を表明された。そこで、残された課題として人口減少への対応、駅南市街地再開発事業、ネットワーク型コンパクトシティ構想、市民病院の産科の開設、本庁舎問題、道路網の渋滞緩和を挙げられたが、この多治見市の未来像は明確に示されなかった。それを踏まえ、改めて市長が描く本市の未来像について質問する。

問

平成31年度一般会計予算は、初めて400億円を超える規模となった。この投資の先にある本市の未来像はどのようなか。

答

【市長】 多治見市民の幸せのためには、12月議会で述べた6つの課題に確実に対応する必要がある。平成31年度一般会計予算についても、駅南市街地再開発事業の推進に加え、市民病院の産科開設に向けた体制づくり、小泉小学校の建て替え、北市場霊園への集合墓の整備などを実施していく。

問

この3期12年で進展が見られない道路の渋滞問題が、今後4年で急に進展するとは思えないが、今後の見通しはどうか。

答

【都市計画部長】 市内の交通渋滞については、最優先課題の一つと捉え

問

本庁舎については、市長選挙の争点となるべきテーマであるが、立候補にあたって、本庁舎建設予定地に対する考えを市民に示す考えはあるか。また、コンパクトシティ構想を推進する関係上、既に建設候補地の答えは出ているとの声もあるが、いかがか。

答

【市長】 候補地については、庁内の研究会で11カ所を選定し、そこから2カ所に絞り込んだ。今後は、議会に示したスケジュールに沿って、来年度に意見聴取を行い、平成32年度の早い時期に決定・公表する予定で、市民に対しても同様の示し方をする。

答

【総務部長】 立地適正化計画や中心市街地活性化基本計画のエリアには、候補地の駅北17街区と現本庁舎の両方が含まれている。建設地は、市民の利便性や交通アクセスを考慮して決定していく予定であり、現段階では答えは出ていない。



ふるしやう しゆうち  
古庄 修一

子ども食堂について

子ども食堂は、現在全国に2千400カ所以上、未登録まで含めると4千カ所にもなると聞いている。今や子ども食堂は、新たな地域コミュニティの場になりつつあり、本市においても、「ニコニコ小泉 子ども食堂」など市内5カ所で開催されている。現場では、さまざまな問題も浮上しているのが現実であるため、本市の子ども食堂の現状について、以下の質問と提案をする。

**問** 子ども食堂に対しての本市の見解はどのようか。

**答**【市長】子ども食堂は、食事の提供のみならず、子どもの居場所としての役割を果たしており、地域が主体となり、地域による子ども見守り活動として期待している。

**答**【福祉部長】見守り活動を通じて、個別支援につながるケースが発生することも想定される。本市としても各団体と情報交換を密にし、活動の周知に努めていく。

**問** 新たに子ども食堂の運営を検討している団体への支援はどのようになっているか。

**答**【福祉部長】平成29年度に実施した「多治見市子どもの未来応援調査」の結果を受け、食事の提供を通じて

子どもの居場所づくりを行う団体への支援として、今年度補助要綱を新設した。これは、岐阜県の補助制度を活用したものであり、本市としても運営団体の支援に取り組んでいる。なお、制定した要綱では、補助の上限を、運営団体へは20万円、新設団体へは30万円としている。また、保健所への手続き案内や児童館・公民館などとの連携を通じての協力支援も今後検討していく。

**問** フードバンクや大手の企業、商業施設との協定について働きかけていただけないか。

**答**【市長】市内の企業に働きかけたところ、株式会社パローホールディングスから協力したいとの連絡をいただいた。本年5月頃に正式に協定を締結することとしている。

**問** ふるさと納税制度に子ども食堂の応援という項目を加えることはできないか。

**答**【総務部長】昨年9月28日から、ふるさと納税の項目に、子ども食堂などを対象とした「子ども未来応援」のメニューを追加設定し寄附を募っている。昨年度は、152件、286万円の寄附があった。今後ふるさと納税のPRに努めていく。



さとう のぶゆき  
佐藤 信行

重症心身障がい児(者)への医療的ケアと福祉の連携について

岐阜県のモデル事業である、障がい児者短期入所運営看護人材育成モデル事業が今年3月で終了することにより、これまでの環境が変わるのではないかと懸念が示されている。医療的ケアだけでなく、家庭的な雰囲気の中で、子どもたち一人ひとりの生活リズムを保ちながら、安心、安全に生活が送られるよう、療育の面で利用者の可能性を広げられる取り組みが必要と考える。本市の見解について、以下の質問をする。

**問** 岐阜県のモデル事業が終了することへの影響はどのようか。

**答**【福祉部長】医療型短期入所については、空き病床を利用するため、稼働病床数の拡大等により、受け入れ日数や受け入れ人数の減少、曜日の変更などにより、利用者にとって不自由な状況であるが、医療型短期入所事業の趣旨は、医療的ケアが必要な最重度障がい児者の方を安全に預かることであるため、モデル事業の終了により、本来の目的が達成されなくなることは考えていない。

**問** 県立多治見病院が平成34年度より、重症心身障がい児への医療的ケアを行うとのことである。岐阜市には地方独立行政法人岐阜県総合医療センターの中にある医療的ケアと福祉を

**答**【福祉部長】すこやか分室については、県立多治見病院を含め、東濃圏域における重度障がい者のための施設の充実整備について、引き続き県に要望する。また、重度心身障がい児者への支援の充実のため、岐阜県重症心身障がい在宅支援センター「みらい」の東濃サテライトを今年4月から駅北庁舎に誘致し、引き続き相談体制の強化を図る。

**問** 県立多治見病院の開設前に市民病院の空き病室がなくなってしまう場合の対応はどのようか。また、新たに開業しようとする地域のクリニックや事業所などに対する支援(報酬単価の加算等)も同時に行っていく必要があると考えるがいかがか。

**答**【市長】空き病室がゼロになった場合の施設対応については、木沢記念病院に再度お願いしている。医師会会長とは意見交換を行っている。医師会とはしっかりと協議を行っていく。

**問** その他の質問項目

◆多治見の国際化について



やまぐち まゆみ  
山口真由美

本当に困っている子どもを  
助けられる「子どもの権利条例」に  
するためにすべきこと

平成23年9月議会で子どもの権利条例の意義について質問した。それからどのように変わってきたのか、子どもの困難に対して大人は何ができるか、何をすべきかという想いを常に持ち、すべての子どもを幸せへとベクトルを合わせて向かっていくように、ともに考えるという目的で質問をする。

**問** 子どもの権利相談室の相談件数は右肩下がりであるが、この原因は何か。

**答** 〔市長〕 相談に至る事前のところで対応を取っているため、減少につながっている。

**問** 私立の児童保育施設で教諭、保育士による虐待があった場合でもこの条例は介入し助けられるのか。

**答** 〔環境文化部長〕 子どもの権利侵害にかかわる救済の申し立てを受け、子どもの権利擁護委員の判断により、調査、調整、勧告、是正請求を行う。

**問** 子どもの権利相談室は自習している学生が大勢いる場所を通過して行かなければならないため、駅北庁舎等、行きやすい場所へ移動できないか。

**答** 〔環境文化部長〕 子どもがたくさんいて入りやすい場所としているが、現状を確認し検証したい。

**問** 子どもの権利を取り巻く状況が変化しているため、今後、より良い子ども

のための条例へと改正することを望むがいかがか。

**答** 〔市長〕 子どもに暴力を振るわない命を守ること、最優先に、全ての担当を含めてしっかり検証する。

**問** 条例の見直しをしてほしい。特に「保護者による虐待の禁止」項目があるが、保護者に限定する必要はなく、「誰もが」という内容に変えて欲しいかがか。

**答** 〔市長〕 この条例は前文が非常に長く、学術的であり、当時の子どもの権利条例を最初に作った学者達の思いに満ち溢れている。それよりも条例第七条の命を守るということを中心に書く。それが子どもの権利である。今の世の中とは少し乖離をした条例なので検証する。

**問** 現在の法制度では私立の園に対して市が介入できないところがあるが、子どもをしっかりと守るといふことで間違ったか。

**答** 〔市長〕 公立、私立に関係なく同じように研究、研修を行っている。万が一疑わしいことがあれば絶対に行動を起こすことを約束する。

**問** その他の質問項目

◆子ども情報センター集約化計画  
と、さわらび学級の移転計画に  
CSN



わたなべ たいぞう  
渡辺 泰三

音楽で溢れるまちづくりを

先日、指揮者の小澤征爾氏のドキュメンタリーを見ていたところ、「本物を見ること、未来の子どもたちへの生の演奏を聴かせることが大切」と言っていた。本市は、パフォーミングホールが昨年4月に名古屋音楽大学と文化芸術の振興や人材育成などを目的とした連携協力に関する協定を結んだほか、駅北庁舎でコンサートを行うなど、文化振興に力を入れていると認識している。しかし、本市においてさらに素敵な催しが行われることを期待して、以下の質問をする。

**問** パフォーミングホールで行われた催しのうち、ここ数年間で満席になったものは何か。

**答** 〔環境文化部長〕 パフォーミングホール主催のものでは、平成29年度は佐渡裕指揮の東京シティ・フィルハーモニー管弦楽団特別公演会など、平成30年度は高嶋ちさ子12人のヴァイオリン・ソロのコンサートなどである。

また、民間主催のものでは、平成30年度に限っても13件が満席になるなど、地方の文化ホールの中では満席になることが多い、大変充実した事業を行っているホールである。

**問** パフォーミングホールの催しは、どのように決めているのか。

**答** 〔環境文化部長〕 指定管理者が、本市が示した事業の仕様をもとに、時代の流行に合ったものや、日本の伝統芸能等、広く市民に味わってほしいと思う鑑賞事業を厳選して事業の企画・実施を行っている。

**問** 前に、有名なソリストを呼んで修道院でコンサートを行った。修道院は音響がよく、すばらしいコンサートであった。また、修道院でのコンサートを開催できないか。

**答** 〔市長〕 平成30年4月、多治見商工会議所を中心に、虎深山永保寺と修道院を活用したイベント「虎深山文化の森プロジェクト」が開催され、本市も後援した。今後は毎年4月に開催される予定である。

**問** 過去に、創作オペラ「オリベ焼文様」が上演されたが、オペラのような市民に知ってもらうためにも、再演できないか。

**答** 〔環境文化部長〕 「オリベ焼文様」は、市制70周年記念市民オペラ公演で上演されたもので、主催はたじみ市民オペラの会である。その後、パフォーミングホールではオペラに特化した事業は行っていないが、幅広い世代に向けて多種多様な事業を展開しており、オペラ公演についても機会があれば考えていきたい。



せんごく みきお  
仙石三喜男

星ヶ台運動公園整備計画（案）について（子ども、高齢者にとって優しい夢のある公園を目指して！）

星ヶ台運動公園の整備にあたっては、子どもや高齢者にとつて優しく、夢のある公園であつてほしいと考えている。議会において第7次総合計画の検証を2年間行つてきたが、この星ヶ台運動公園整備計画には進捗が見られなかった。昨年12月に議員に対して星ヶ台運動公園整備計画案の説明があつたが、本当に市民の意見等を反映した内容となつているのか。

公園内を走る市道の安全性も含め、星ヶ台運動公園のあり方について、以下の質問をする。

**問** 今回示された星ヶ台運動公園整備計画案は、公園内の一部に限つたものではないか。全体の計画が示されていないのはなぜか。

**答** 〔副市長〕 星ヶ台運動公園整備計画案は、都市公園としての多治見運動公園の中にもスポーツ施設関連の整備計画を指しており、本市のスポーツの拠点となるよう、真に必要なスポーツ施設・機能を配置したものである。なお、多治見運動公園としての全体計画は、星ヶ台運動公園整備計画案の概略設計に併せ来年度、関係課と引き続き検討していくことになる。

**問** 星ヶ台運動公園整備計画案は、関係

団体や市民の意見を十分に反映した計画となつてゐるのか。

**答** 〔市長〕 5、6年前から体育協会、種目団体を中心に協議を重ねており、体育協会から提出された要望書に沿つた内容で、実現可能な計画案となつてゐる。

**問** 公園内を走る市道の安全性を向上させることはできないか。

**答** 〔建設部長〕 関係者を交え多治見警察署と協議を重ねた結果、現在の横断歩道を設置した。今後も多治見警察署と連携を密にし、より一層の交通安全対策に努める。

**問** 運動施設以外の場所において、幅広い年齢層の市民が気軽に利用できる施設の充実を求めたい。

**答** 〔建設部長〕 これまでも、健康遊具の設置やジョギングエリアの整備、バーベキューエリア等を整備してきた。引き続き利用者や地域の声を聞きながら、整備を続けたいと考えている。



星ヶ台運動公園整備計画（案）



てらしま よしえ  
寺島 芳枝

Net119緊急通報システムの導入について

Net119は、音声による119番通報が困難な聴覚および言語障がいの方が円滑に119番通報ができるシステムである。スマートフォンやタブレットからチャットの要領で文字による通報が可能であり、メールなどと比べ簡単にやりとりができる。また、GPS機能で本人の位置が特定できるため、導入済みの地域に入れば、消防本部への通報が自動的にできるため、全国展開が望まれる。消防広域化に向けて、検討が行われている本市の導入についての見解を伺う。

**問** 聴覚障がい者からの119番通報の方法と、過去3年間の件数はどのようか。

**答** 〔消防長〕 聴覚障がい者等からの119番通報の方法は、メール119とFAX119の2つである。いずれも福祉課が担当しているが、緊急通報のため、消防で受信している。平成28年から平成30年までの3年間の通報件数は、メール119が2件、FAX119は0件である。

**問** Net119緊急通報システムの導入に向けての見解は。

**答** 〔消防長〕 聴覚障がいを含む全ての障がい者からの緊急通報手段として、Net119緊急通報システムは重

要なツールであることは認識しているが、導入については通信指令業務の全県一区による共同運用の動きがあるため、共同運用をする際に緊急通報システムを導入すべきと考えている。よつて、国が示している2020年までに多治見市単独で導入する予定はない。

**問** 現在の方法での周知はどのように行つてゐるか。また、対象者を調べると、聴覚障がい者288人、言語障がい者53人であるのに対し、メールの登録者数24人、FAXの登録者数3世帯である。家族と同居の方もおり、登録者数が少ないと思われるが、より一層の周知を図つていただきたいと要望する。

**答** 〔福祉部長〕 身体障害者手帳交付時に案内するほか、聴覚障害者協会等の関係団体を通じて随時実施している。手帳を持つていなくても同等の障がいを持つ方へは、広報紙や市のホームページをはじめ、民生委員や地域包括支援センター等を通じて周知を図りたい。家族と同居している方については、特に登録の必要はないと判断されている方もいるが、今後も引き続き周知に努める。

◆その他の質問項目  
子育て支援策について



いのうえ  
井上あけみ

多治見市内に  
通所リハビリテーションを！

高齢化のスピードが増し、これに対応する施設の1つが通所リハビリテーションである。脳梗塞等で入院し、その後日常生活に復帰するため通所リハビリ施設の需要は多くなっていると考え質問ある。

**問** 退院後のリハビリを必要としている方の数と、その受け皿となる施設はどのような状況なのか。

**答** **〔福祉部長〕** 多治見市内には介護保険対象の通所リハビリテーション事業所として、3事業所の指定があり近隣市の施設等も利用されていることは把握している。

**問** 通所リハビリテーション事業所への給付件数は、年間2千件から2千500件程度で横ばいに推移しており、需要と供給は安定している。

**答** **〔市民健康部長〕** 平均入院期間は4カ月で、最大は6カ月。外来リハビリテーションは行っていないため、退院後は本人や家族の意向を聞き、老人保健施設の紹介や介護保険サービス等の情報提供を行っている。

**問** 長時間リハビリが可能な施設を市内に望む声が聞かれるが、この要望についての本市の考えは。

長時間リハビリが可能な施設を市内に望む声が聞かれるが、この要望についての本市の考えは。

**答**

**〔福祉部長〕** 日常生活動作の維持と生活の質の向上のために、リハビリの機会は重要と認識している。入院中のリハビリから退院後の通所リハビリテーション施設を経て、生活リハビリやコミュニケーションの場としてデイサービス等を利用する流れが一般的である。介護保険制度では、通所介護施設が請求できるさまざまな加算により、介護報酬の面で事業所を支援し、市民が在宅生活を継続できるよう、通所介護施設の総合的な機能向上に向けて、加算等の情報提供や実地指導の機会を利用して支援・指導を行っていく。

**答**

**〔副市長〕** 現在、デイサービス施設は、市内に49カ所あり、定員数は県平均を大きく上回っている。有効なリハビリが実施されるために、利用者に適した機能回復・維持ができるリハビリのマネジメント、施設のサービスの質の向上を図っていく。現在、新たに通所リハビリ施設を誘導する予定はない。

◆10年、15年先を見越した地域力の強化を！

## 多治見市議会を傍聴しませんか

議会では、皆さんの生活に密着した重要な問題を審議しています。市政を知っていただくためにも、お気軽にお出かけください。傍聴席入口にある傍聴人受付票に氏名、居住市町村名を記入し、受付箱に入れていただくだけで傍聴できます。なお、本会議等の開始時刻は、原則として午前10時からです（市政一般質問の2日目以降の開始時刻は、午前9時になります。）。

本会議のライブ中継や録画放送をインターネットやスマートフォンでご覧いただけます

多治見市議会 議会中継 検索



### おりベネットワークで市政一般質問を放送しています

毎定例会の市政一般質問をおりベネットワークで放送しています。放送は、原則として午前10時から（市政一般質問の2日目以降は午前9時から）です。ぜひご覧ください。

#### 6月定例会の予定

5月 31日（金）	本会議（招集～提案説明）	20日（木）	本会議（市政一般質問）
6月 6日（木）	本会議（質疑～委員会付託）	21日（金）	本会議（市政一般質問）
10日（月）	総務常任委員会		※午前9時開始
12日（水）	経済建設常任委員会	24日（月）	本会議（市政一般質問：予備日）
13日（木）	厚生環境教育常任委員会		※午前9時開始
14日（金）	委員会（請願予備日）	27日（木）	本会議（委員長報告～表決）

\*会議は、開始時間の記載がある場合を除き、午前10時からです。  
\*提出議案等により、委員会の開催予定日が変更になることがありますので、ご注意ください。

## 議会による市民との談話室は終了しました

市民の皆さまが気軽に悩みごとや困りごとのご相談ができる場所として、平成30年度は駅北庁舎2階多目的スペースに場所を変え、平成30年8月から平成31年1月にかけて4回開催しました。

子どものあそび場や人口問題等について、市民の皆さまと直接意見交換を行うことができました。また、貴重なご意見をいただきありがとうございました。



## 勇退議員の紹介

平成31年3月議会を最後に5名の議員が勇退を表明されました。長い間市政発展にご尽力されたことに感謝し、その労をねぎらいたいと思います。(3月22日までに表明のあった議員)



**若尾 靖男 議員**

当選回数：7回  
(平成3年初当選)  
会派：自民クラブ



**加納 洋一 議員**

当選回数：5回  
(うち町議の当選回数:2回)  
(平成12年初当選)  
会派：無会派



**安藤 英利 議員**

当選回数：4回  
(平成15年初当選)  
会派：自民クラブ



**山中 勝正 議員**

当選回数：3回  
(平成19年初当選)  
会派：公明党



**山口真由美 議員**

当選回数：2回  
(平成23年初当選)  
会派：創生の会

## 編集後記

議会だより192号をお届けします。広報広聴研究会では、議会の活動をわかりやすく伝えるために取り組んでいます。

平成30年度の議会の活動で特徴的だったことは、総務常任委員会、経済建設常任委員会、厚生環境教育常任委員会の各常任委員会がテーマを持って活動したことです。

例えば、厚生環境教育常任委員会では、「子どもの困難に対して大人ができること、すべきこと」というテーマで1年間活動をしました。これは各委員から年間テーマを募集し、それをまとめたものです。同委員会でのこのテーマを説明した際、市の担当課にもこのテーマを投げかけました。児童虐待、不登校、いじめ、多くの子どもを取り巻く困難ですが、その子によって

困難は違う。まずは子どもの困難とは何だろうか、というところからスタートしました。東濃子ども相談センター所長に状況を伺い、視察には大阪府箕面市と大阪市西成区のにしなりこども食堂を訪れ、子どもの困難に対して大人が動いている姿を目の当たりにしました。そこに共通しているのは、「子どもの居場所を作る」ことに必死で動く大人の姿でした。平成30年11月に開催された、市民と議会との対話集会においても、このテーマで市民の皆様と話をしました。各委員はこの一年間、このテーマを念頭に置きながら活動しました。それは、議案の審議にも活かされ、市民と議会と執行部が同じ目的に向かい、深い議論ができ、想いを共有できた1年間でした。

広報広聴研究会

会長 森 厚 会員 渡部 昇 会員 三輪 寿子 会員 嶋内 九一  
副会長 石田 浩司 会員 古庄 修一 会員 井上あけみ

# 平成31年度一般会計予算の歳入歳出総額が 過去最高の400億円を突破

予算  
審議

可決

平成31年度一般会計予算額は、前年度比50億3,700万円増の404億9,900万円、歳出の伸び率は、14.2%となりました。予算科目別に見た前年度予算額との比較では、教育費の伸びが最も大きく、前年度比18億7,764万4千円、40.5%の増加となっています。

## 平成31年度の事業の一部を紹介

### (仮称)食育センター建設事業費

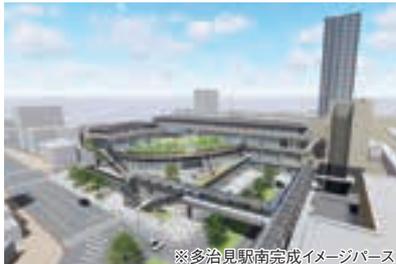
(予算額) 10億8,246万円



安心安全な給食の提供およびアレルギー対応の推進を目的に、約5,000食の調理能力を持つ、食育の拠点となる施設を建設します。平成33年夏、竣工予定です。

### 駅南市街地再整備事業費

(予算額) 18億5,317万円



※多治見駅南完成イメージパース

テナント誘致を進め、特定業務代行者を決定します。また、平成31年8月から既存施設建築物の解体に着手します。

### 小泉小学校建替事業費

(予算額) 13億3,593万円



※小泉小学校完成イメージパース

小泉小学校の建て替えに伴い、平成31年度から平成32年度にかけて建設工事を行います。平成33年竣工予定です。

## 予算審査質疑

3月4日の総務常任委員会、6日の経済建設常任委員会、7日の厚生環境教育常任委員会における平成31年度一般会計予算に関する質疑から、一部をご紹介します。

**問** 定住化促進関係費について、東京圏から移住された人に100万円を支給するということが、予定は何か。また、東京圏からの移住という流れはどこから来たのか。

**答** 3世帯分を予定している。国の施策で東京一極集中の是正、地域の担い手不足への対応といったなかで、岐阜県もこの施策を進めるといふことで、県下全市町村が参加する意思を表明した。補助割合は、100万円のうち2分の1を国が、4分の1を県が、4分の1を市が持つものである。

**問** 駅南市街地再整備事業について、想定していた進捗状況と現状にはどの程度の違いが出てきているのか。

**答** 平成30年度に計画を見直ししており、規模の縮小やホテルの誘致により、都市計画変更や事業計画の変更認可の必要があったが、全体として着工時期に遅れはなく、多治見駅南地区市街地再開発組合としても、本市としても、当初の計画どおり、平成34年6月の竣工を目指し事業を進めているところである。

**問** 多治見のこみちは2年続いているが、期待するコンテンツはあるのか。

**答** インバウンド対応可能なコンテンツの発掘も含めて、平成31年度検討したい。平成30年度は、82のプログラムがあり、そのなかには、外国人の対応が可能なものとそでないものがあったため、パートナーや事業者と相談しながら、外国人向けのプログラムも含めて対応したい。

**問** 多治見市民病院の産科開設について、最初から産科の計画をしていなかったのか。当初から産科開設の計画があったので、産科、分娩室等のスペースは用意しており、一部機械も購入している。今回、産科の開設にあたり、常勤の産科医やスタッフと事務的などところも検討しながら、時代に合った最新の医療機器設備を整えるために、改修と新しい医療機器の購入で予算が必要となった。

**答** 現在、産科プロジェクトが立ち上がり、産科のスタッフや事務職員も入り、平成32年4月から安心、安全な分娩がスタートできるように、検討が始まったところである。

**問** プレミアム付商品券の対象者は。

**答** 対象者は、現在のところ(6月7日答弁)住民税非課税の方と2歳以下の子どもを持つ世帯主となっている。消費税を10%に引き上げる対策として、低所得者のための経済対策に加えて、景気の活性化を合わせて行つたために国が進めている事業である。給付金事業と商品券事業を併せて、対象を低所得者に絞り込んでいる。

この議会だよりは1部当たり11.23円(税込み)で、40,300部作成しています。



リサイクル適性

たじみ議会だよりは環境に配慮した再生紙と植物油インキを使用しています。この印刷物は、Aランクの資材のみを使用しており、印刷用の紙にリサイクルできます。

この印刷物を破棄するときは、燃やさないで、資源回収等に出しましょう。